

# ぶとろう

編集・発行／五島市議会広報特別委員会  
五島市福江町1番1号 TEL.0959-72-7923



## 目次

市政を問う（一般質問）	P 2～P 8
委員会審査、要望決議	P 9
意見書提出	P10

10月10日、清らかな秋空の下、地域住民が一堂に会し、毎年恒例の市民運動会が各地区で行われ、スポーツを通して融和と親睦を深めた。

# 一般質問 市政を問う



平成22年9月定例会は、9月9日から9月30日までの22日間の日程で開催された。一般質問は9月14日から3日間行われ、13人の議員が登壇し活発な論議が展開された。  
(議員写真は西日本新聞社提供)

**質問** 富江漁村センターは、漁業関係者の話し合いの場として、また小島地区老人会町内会事務所、娯楽施設として幅広く利用されているが、利用するにあたり不便な点が多く、市に陳情しているが、何の進展も見られない。平成二十二年九月一日、担当課が現状調査に来たときに、漁業者約三十名と婦人会約十名が現状施設の不具合の早期改善を次のようにお願いした。  
①現在の女性用トイレは、

村岡末男議員



**問** 富江漁村センターの改善を

**答** 改修方法、費用など検討し改善する

和式のくみ取り式なので高齢者や足の不自由な人にとっては使用が困難であるため、洋式便座に取りかえてほしい。  
②臭気が強く衛生的にも悪いので、簡易水洗にしてほしい。  
③トイレの間仕切りが狭く窮屈なので、間仕切りを広めてほしい。  
これら三点、婦人部全員で早期改善を担当課にお願いし、期待をしていたが、何の進展もないため不信感や不満がある。この婦人部の陳情に対しどう対応するのか。

**答弁** 施設の改善については、指定管理者や富江支所からの連絡を受け対応しているが、現地を確認したところ、大規模な改修を要する施設もあり、現在、技術的な改修方法や改修費用などについて検討している。今後指定管理者との協議を行いながら施設の改善に努めていきたい。



現在の富江漁村センター



江川美津子議員

### 問 乳幼児医療費の現物給付を

### 答 来年4月からの実施を考えている

込みである。現物給付化による影響について内部で検討を開始した。医療関係者の理解もいただきながら早く結論を出したい。四月からの実施を考えている。



**質問** 県は乳幼児医療費現物給付助成に向けて関連経費四千八百万円を補正予算に盛り込んだ。佐世保市、諫早市では十月から現物給付が始まる。本市の実施に向けての検討状況は。この現物給付方式は遅くとも新年度から実施すべきで、他の福祉医療費についても同時実施をすべきでは。

**質問** 子宮頸がんワクチン接種についてアンケートを行ったと聞くが、助成のためと理解してよいのか。また、乳幼児の細菌性髄膜炎の予防に効果のあるヒブワクチン、肺炎球菌についても子宮頸がんワクチンと同じように助成すべきでは。

### ヒブ、肺炎球菌ワクチン予防接種の助成を

**質問** シカ被害の効果的な対策のために、早急に生息地域などの実態把握が必要では。防護柵等の設置や被害相談の体制は。玉之浦の島山島、荒川地区、三井楽地区の濱ノ畔、貝津地区に約六百八十頭生息しているとの結果が出ており、十三基の捕獲罟を設置した。今後、被害の相談や指導、ワイヤーメッシュ等の設置など検討していきたい。

### シカ被害の実態把握を

**回答** 子宮頸がんワクチン接種について、がん撲滅と子育て支援の一環として意向調査を実施して検討したが、説明会等をする必要があると判断している。国の動向を注視しながら来年度実施に向けて準備を進めたい。また、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンについては、定期予防接種化と財政支援を県市長会を通じて国に要望をした。国や他自治体の動向を見ながら検討していきたい。



向原安男議員

### 問 五島市の二元代表制は築かれているか

### 答 円滑な議会運営等の活動がされている

基づき、議会が団体意思の決定機関であるという認識のもと、円滑な議会運営等の活動がなされていると考えている。

### 地方自治法に反する説明では

**質問** 十九年三月議会で、IRU契約交渉破綻による情報センター移設費の説明の中に、地方自治法の二百六十六条（目的別計上）と二百二十条（予算の流用禁止）に反する説明がされたことについての見解を。

**質問** 市長は二元代表制の基本に立ち、五島市議会に対して議会が確かな審議権、行政調査権、行政の監督権を行使できるような関係を築いていると考えているか。

**回答** 五島市議会は議決機関としての議会、監視機関としての議会、政策形成への関与機関としての議会の役割を十分に発揮しており、地方自治法第九十六条等々の規定に

**回答** 地方自治法に反する流用をしたとは認識してないが、今後、再度研究したい。また、資料提供の指示については記憶にない。  
**要望** 情報センター移設費については、住民百六十七名が住民監査請求を行い、監査結果を不服として、住民有志がその返還を求めて住民訴訟を提起し現在係争中である。住民訴訟がなかったらこの問題は闇の中であった。原告団の皆様には感謝している。  
また、地方自治法に反する議会への説明と資料の提供は、市長の直接的な関与がなければ起こり得ない。市政は市長個人のものではなく、あくまでも市民全体のもので市長の思惑で市政運営を行ってはならず、そのことで職員を苦しめてはならない。この二点を強く求めた。



市民体育館内に設置している情報センター



木口利光議員

### 問 離島振興法延長で格差 是正の取り組みを 答 関係機関と連携を図り 国へ働きかける

改正、離島空路整備法の制定、離島に係る揮発油税の完全廃止及び流通コスト低減のため高速道路料金と同様、離島航路運賃の引き下げを国に要望する。



建造中の新船フェリー万葉

### 過疎・限界集落へ 支援を

質問 本市は県内一の限界集落を抱え、生活環境保全のための陳情書作成もままならない。地域の高齢者の要望に応えようと、ともに過疎・限界集落を集落支援員制度等で人的に支えることが必要ではないか。

質問 二年半後に失効を迎える離島振興法の延長に向け、航路・空路の交通問題や全国一高い燃料費、物流費の格差は正にどのように取り組むのか。

質問 本市は最高級のサービスマシンの陳情書作成を支援すべきと考える。集落支援員制度は過疎集落活性化のための国の人的支援制度であり、まず二次離島モデル地区として実施したい。

### 英語基礎学力の向上を

質問 県全市町参加の中学三年生英語基礎学力調査で本市は最下位だったが、この深刻な状況をどのように改善するのか。

質問 本市は最高級のサービスマシンの陳情書作成を支援すべきと考える。集落支援員制度は過疎集落活性化のための国の人的支援制度であり、まず二次離島モデル地区として実施したい。

古川雄一議員

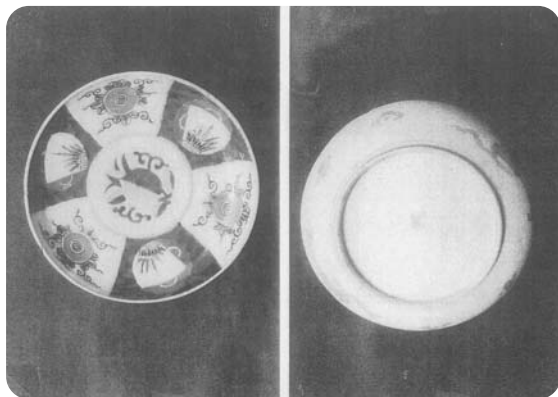


### 問 皿山窯の復元を 答 条件整備が必要である

だが、再度、市長の見解を。質問 窯跡への案内板の設置やアクセス道路、窯跡周辺の草刈りなどを実施し、見学できる環境を整えていきたい。地元愛好家が出てきてほしいと願っている。個人有林なのでいろいろな条件整備も必要である。

### 富江サイクリング ロードの延長を

質問 富江サイクリングロードはキャンプ村から笠山公園まで八キロある。山下漁港、天保海岸、黒瀬まで延長し、観光客が喜ぶような整備ができないか。



皿山焼と思われる焼物

質問 富江サイクリングロードはキャンプ村から笠山公園まで八キロある。山下漁港、天保海岸、黒瀬まで延長し、観光客が喜ぶような整備ができないか。

### フロンティア漁場整備 事業についての考えは

スに落ちついた経緯があると聞いている。海岸線を保護するための保安林に手を入れることは林野庁が難色を示した経緯もある。山下黒瀬間の旧道の活用なども含め調査したい。

質問 五島西方沖フロンティア漁場整備事業については本当に五島のためになるのか。市長の見解を。

質問 フロンティア漁場整備事業は、マアジ、マサバ、マイワシ資源の回復の促進、水産物の安定供給を確保するためにこれからの産卵場となる九州西海域において漁場の造成を図るものである。

この事業は、水産資源の回復に大きく寄与するとともに、地域経済への効果も期待されるので、本年七月に必要な予算の確保や市内の建設業者が参加可能な発注形態とするよう国に要望した。



宗 藤人議員

問 市道白鳥線の拡幅を

答 舗装の打ちかえなどの整備を行う

質問 市道白鳥線の道路は狭隘で車両の離合が非常に困難で、側溝も未整備で危険な状態なので、道路の拡幅工事を行うべきでは。



市道白鳥線

質問 市道白鳥線の素堀部分については、ふたなしのU字側溝をふたつきの側溝にしたいと考えている。また、劣化した区間の舗装の打ちかえ

質問 小中学校不登校児童生徒（引きこもり）のそれぞれ的人数と内容は、また、不登校児童生徒の判断基準は。

質問 若年層（十五〜十九歳）に対する総合ヒューマン・コミュニティー・システムの必要性についての考えは。

質問 片山町の道路片端への小円筒ポール設置を。

林道七嶽線の拡幅を

工事及び離合箇所の整備を考えている。

質問 林道七嶽線は、正月三日で千五百人以上の市民が利用しているが、道路は狭隘で離合場所は一カ所しかなく、参拝者や観光客は大変不便を強いられている現状なので、拡幅整備を行うべきでは。

景気雇用対策を

質問 現在、不況の影響を受け仕事がなく、離職者を含め多くの市民が出稼ぎに行かざるを得ない本市で、一人でも多くの雇用の場の創出が必要と考える。公共事業の新規事業を掘り起こす考えはないか。また、地元業者への受注率を高めるため、さらなる分離発注の推進はできないか。

質問 議員を初め、市民や関係機関団体の意見を聞き、国や県の補助制度等を活用しながら雇用の拡大、地域経済の浮場につながるような各種施策を実施していく。



相良尚彦議員

問 不登校児童生徒に対する対応は

答 関係機関と協働して取り組む

心となって取り組んでいるグレイゾーンの子供を洗いだし、早目の具体的な手立てを行っている。対応は、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心の教室相談員、病院関係と協働して取り組んでいる。

ドッグラン施設の設置を

質問 ドッグラン施設の設置を。

回答 飼い主同士の交流や情報交換の場としても有効であり、ドッグランを拠点に飼育マナーの向上や愛犬家の組織化も期待できるので協議していく。



小円筒ポール設置を

質問 片山町の道路片端への小円筒ポール設置を。

回答 大雨の時は道路が冠水し区別がつかないのでポールを設置したい。



大波止に設置されている急速充電器

**質問** 四月から電気自動車  
車が六十五台、新上五島  
町に三十五台配備され、  
主にレンタカー会社に貸  
し出されており、今年の

議員 網本定信



**問** EV・PHVタウン  
構想の取り組みは

**答** 電気自動車の追加配備と  
総務省による事業を行う

夏は至るところで電気自動車を見た。EV・PHVタウン構想事業を活用した今後の取り組みは。

**答弁** 五島地域に三十八台の車両と十五基の急速充電器などが追加配備される計画である。また、この事業と連携して総務省は慶應義塾大学を中心に、大手企業が参画したプロジェクトチームを組織し、ネットワーク統合制御システム標準化等推進事業を実施する。これは、福江港に太陽光パネルを、ターミナル内にネットワーク機器を設置し、電力の需要と供給を最適化するスマートグリッドを構築するための実証実験を行うものである。

また、小児科医については、本年五月から長崎大学から不定期に月一回、国立病院機構長崎医療センターから二ヶ月に一回、一名の診療応援をいただいている。

**三井楽診療所の休日診療体制は**

**質問** 三井楽診療所の休日診療体制はどうなっているか。

**答弁** 休日の診療体制は、月の第三土・日及び連休とならない祝日は診療所長が日直をし、それ以外の土・日、及び月曜日が祝日となる日は、長崎大学病院の内科医局から日直の支援を受けて急患の対応を行っている。支援を受けているのは内科専門医で総合医の配置が理想であるが、総合医が育っていないのが現状である。

**乳幼児医療費無料化の状況は**

**質問** 四月から実施している乳幼児医療費無料化の現在の状況は。

また、小児科医への対応は大丈夫か。

**答弁** 無料化による影響を検証すると、民間病院のデータも含め、

年度や季節ごとの病気の特微などを除外したところでの数値の比較が必要と考えるので、一定期間のデータの蓄積が必要である。

議員 中村康弘



**問** 郵便局での税金納付を

**答** 来年4月から納付できるようにしたい

**農地・水・環境保全向上対策事業の継続を**

**質問** 崎山地区など地域の大切な事業として、農地・水・環境保全向上対策事業が行われている。第一期が平成二十三年度までとなっているが、国に継続の要請をすべきではないか。

**答弁** 現在、十七地区で取り組んでおり、地区のまとまりや農地保全につながり、事業の効果が高く、今後も取り組む地区の拡大を推進しさらなる継続を国に要望していきたい。

**市職員の町内会入会の促進を**

**質問** 人口減少の中、各町内会も高齢化等により活力減となっている。市職員及び嘱託員、市補助団体職員も入会し、同じ目線で地域に貢献すべきであり加入促進を。また、消防団への入団も同様と考えるが。

**答弁** 福江地区町内会長との懇談会でも、要望事項として上っており調査の結果、職員五・二%、嘱託員十三・八%の未加入であった。未加入職員については、地域の一人として加入し、地域行事にも積極的に参加するよう呼びかけ、団体等についても、町内会への加入促進を働きかけていく。



農地・水・環境保全の活動風景  
(上崎山地区環境保全整備会)

**質問** 高齢化社会の中にあつて、二次離島を抱える本市として、税金を郵便局窓口でも納付できるようにすべきでは。

**答弁** 現在、郵便局窓口では、市税を含む公共料金は納税通知書等で直接納付ができない。しかし、民営化されたゆうちょ銀行では、マル公制度の利便で無料となり、今後、税を含め公共料金について、この制度を積極的に活用し、郵便局窓口でも

納付できるようにしたい。



柿森 誠議員

問 「がんばらば長崎」地域づくり支援事業への応募を

答 積極的に手を挙げたい

質問 「がんばらば長崎」地域づくり支援事業についての考えは。また、この事業への応募は検討しているのか。  
答弁 この事業への取り組みを重点施策推進本部で協議・検討を開始したところであり、今後、本市からも積極的に手を挙げたいと考えている。

物流運賃の値下げを

質問 来年四月から航路の乗客の運賃が下がることとなっているが、次の課題である物流運賃を下げることに粘り強く取り組むべきでは。

答弁 県は、国の地域活力基盤創造交付金の活用にあたり、長崎県離島基幹航路運賃対策協議会を設置し、離島基幹航路の整備を行っている。その第一弾として、来春、五島航路に交付金を活用した新船のフェリーが就航し、その最大の目的である運賃の低廉化を図る見込である。課題である物流の低廉化については運賃対策協議会の中で意見を述べたい。

奈留地区のバスの試験運行を

質問 奈留の生活交通路線の確立に向けて、路線バスの試験運行の実施を

答弁 奈留島の複雑な地形をほぼ網羅しているものの、路線バスが經由しない地域も存在していることから、これらの改善に向け担当課、支所に検討するよう指示しているところであり、事業者、関係住民との調整を図るためしばらく猶予をいただきたい。



過去に試験運行した三井楽半島バス

片峰 亨議員

問 熱分解油化装置を取り入れては

答 導入できないか検討していく

質問 本市の漂着ごみの中で、廃プラスチックの量は年間千トンとも二千トンとも言われている中、他にも農業関係、漁業関係から出る廃プラの量は膨大である。なか



環境創造舎の廃プラ油化還元装置

でも、農業関係から出る廃プラは、毎年お金をかけて島外に廃棄処理をしている状況にある。そこで、本市の将来を環境面、観光面から考える場合、本市における廃プラスチックを熱分解油化装置にかけてのリサイクル手法を取り入れる考えはないか。  
答弁 近年、国内外からの大量の漂着ごみには悩まされており、美しい浜辺の喪失、漁業への影響も発生し深刻な問題となっている。熱分解油化装置の導入については、

これからの社会が求めるものと考ええる。事業化となると課題もあるため、今後導入できないか十分検討していく。

カネミ油症の早期解決を

質問 事件発生からすでに四十二年もの歳月が経過しており、いまだに何ら解決しておらず、被害者も落胆を隠せないでいるのが現状である。その後の国や県の動きはどのようなになっているのか。  
答弁 本市としては、各カネミ油症の集会などにも積極的に参加しており、民主党長崎県連にも救済を求める要望書を提出した。また、当時の山田農林水産副大臣、福田衆議院議員に対し救済法案を次期通常国会に提出していただくよう要望書を提出した。今後も国会の動きを注視しながら救済法案成立に向け要望活動を展開していく。



神之浦伊佐男議員

**問** アレルギー症状を有する児童生徒への学校給食は

**答** 除去食あるいは代替食で対応

**風力発電の苦情対策は**

福江はアレルギー症状に  
対する対応がされていな  
い。他の椋島、久賀を除  
く四ヶ所については除去  
食あるいは代替食で対応  
している。

**質問** 玉之浦風力発電施  
設の供用開始後、地区住  
民から騒音に対する苦情  
等が相次いで寄せられて  
いると聞かすが、実態はど  
うなのか。また、今後の  
対応は。

**答弁** 住民から風車の風  
切り音について指摘を受  
け、現在まで五回ほど地  
元説明会や協議を行って  
いると聞いている。また、  
対応策は、状況に応じて

**イノシシ被害の対策は**

風車を停止し、停止のた  
めの自動制御システム作  
成と風車冷却ファンの音  
を下げる工事を予定して  
おり、施工後、さらに地  
元説明会を開催する予定  
と聞いている。

**質問** 鹿のほか、イノシ  
シの生息も報告がなされ  
今後の被害が危惧される  
が、市は、有害鳥獣被害  
防止対策協議会に負担金  
を支出し対策を講じ、捕  
獲罟等も設置し、被害対  
策に取り組んでいるが、  
網設置等の対策時におい  
て原材料支給などの支援  
ができないか。

**答弁** 猟友会の協力のも  
と、銃による捕獲等を  
行っているが、今後は、  
免許取得者の講習会が実  
施できないか県と協議を  
したい。また、補助事業  
でワイヤーメッシュ等の  
設置や廃棄処分される漁  
網が鹿対策として有効活  
用ができないか漁業関係  
者等と連携を密にして検  
討したい。



草野久幸議員

**問** 韓国五島間チャーター  
便就航計画は

**答** 韓国との交流促進に期待して  
いる

**質問** 本市の韓国五島間  
チャーター便就航計画に  
対する取り組みは。

また、計画実現に向け  
ての問題点は。

**答弁** 国際チャーター便  
の乗り入れについては、  
C I Qの整備が不可欠と  
なるので、福岡入国管理  
局長崎出張所や長崎税関  
福岡検疫所長崎支所を訪  
問し、C I Qの整備に関  
する要望書を提出した。  
県に対しても支援、協力  
のお願いをしている。



(株)コリアエクスプレス現地視察来島

また、問題点について  
は、C I Q関係の各機関  
を訪問した中で、人的、  
予算的に厳しい状況にあ  
ること、また、県の支援  
も必要であることが指摘  
された。官民一体となっ  
た受入体制の充実が必要  
である。

**今回の濁度の数値は**

の大雨、九月六日の台風  
九号の大雨で、上層の濁  
水等が一日おいて深井戸  
まで浸透し濁りの原因で  
はないかと考える。

**三井楽地区水道水の現状は**

**質問** 三井楽地区水道水  
について、降雨後の濁り  
の最近の現状は。

**答弁** 平成二十二年六月  
二十八日、二十九日梅雨  
時期の大雨、七月十四日

**質問** 飲料水としての濁  
りの水質基準検査値は二  
度以下となっているが、  
今回の濁りの数値は。

また、二度以上の濁り  
の水道水を飲んでも健康  
被害はないのか。

**答弁** 六月二十八、二十  
九日は測定していない。  
しかし、七月十四日の濁  
度は二度以上であった。

**質問** 市内全域で学校給  
食が行われているが、ア  
レルギー症状がある児童  
生徒は各給食センターに  
おいて何人いるの  
か。また、アレル  
ギー症状を有する  
児童生徒への対応  
は。



玉之浦の風車

**答弁** アレルギー

症状の児童生徒は、  
福江十四名、富江  
十名、三井楽六名、  
岐宿三名、奈留五  
名、計三十八名で、



## 委員会審査

本会議において、各常任委員会に付託された条例等23件、一般・特別会計補正予算計8件を原案可決。主な審査内容は次のとおりである。

### 補正予算の審査

#### 子守唄の流れるしまづくり推進事業費

786万8千円

国際ソロプチミスト五島が、本年度をもって解散することになり、同団体が設立以来バザー等を開催して得た収益金を「女性と子どもの活動資金」として活用する。

#### 放課後児童クラブ等安心安心拠点化促進事業

1千138万8千円

放課後児童クラブ、私立保育所、私立幼稚園の計二十三施設のAEDを購入する。

#### 通学路街路灯管理事業

280万円

いずれの町内会にも属

の中継を行う。

#### 住宅・店舗リフォーム資金補助金

1千万円

住宅または店舗の機能の維持・向上を図り、建築業や資材販売業などの中小企業の振興を図ることを目的とし、平成二十一年九月より開始したが、申請件数が多く、補助金が不足することが見込まれるため追加補正を行う。現在まで月平均申請件数が二十六件あり、十月から来年三月まで見込件数を約百三十件として計上。

#### 乳児子育て家庭支援事業

299万3千円

生後間もない0歳児のいる世帯を対象とし、負担軽減を図るため、ベビーベッド、ベビーカー、体重計の貸し出し及び市の窓口への設置を行う。

#### 緑の分権改革事業

500万円

五島椿まつりのテレビ中継委託及びプロモーションDVD作成を行うための経費。テレビ中継委託については、椿まつりの開催時に食用油を活用した料理コンテストなど

#### 田部手川河川改修工事

9千500万円

田部手川は、曲がりくねったルートで河川段面積も小さく、降雨時には頻繁に氾濫しており早急な整備が必要である。今回の整備区間は、県道河務線の橋から福江七十五号線の橋までのショートカット区間約百三十メートルを予定している。

#### 五島市簡易水道事業特別会計

597万5千円

三井楽濱ノ畔簡易水道の激しい降雨時に起こる濁り対策のため、濁度監視装置設置工事の追加補正。



濁度監視装置設置予定の京ノ嶽水源地

## 来年度予算編成に要望

来年度予算編成に向けて、五島市議会では昨年度に引き続き、予算編成に対する要望決議を行った。

### 平成23年度予算編成に関する要望決議

五島市では、現下の厳しい財政難のなか鋭意努力していることは理解できるが、苦しい五島市の財政下であっても住民生活の維持・向上のため、五島市議会として、昨年度に引き続き新年度予算編成にあたっての要望を決議する。

- 一、五島市支所地域振興計画の政策実現へ向けた各支所への最大限の予算確保をされたい。
- 一、学校施設の耐震化については、国から示されている期間までに完了するよう、さらに事業を加速し耐震化に向け取り組まれたい。
- 一、飲料水の安定供給を図るとともに、上水道供給区域の拡大についても検討されたい。
- 一、子育て支援対策の強化を図られたい。
- 一、観光交流人口の拡大のため、関係機関との連携を図り、インターネット情報の充実を図られたい。
- 一、農地の保全や耕作放棄地の解消に向け検討されたい。
- 一、住宅・店舗リフォーム資金補助金の増額を図られたい。

# 国に対し意見書提出

## (仮称) カネミ油症被害者救済法の早期成立を求める意見書

カネミ油症事件は、昭和43年、PCBやダイオキシン類などが混入した米ぬか油を食した人が、身体の吹き出物、手足の痛みやしびれなど、様々な健康被害を訴えたことで発覚した事件です。その発生範囲は西日本一帯に及び、五島市においては、玉之浦地区や奈留地区を中心に、これまでに約700人が患者認定を受けています。

国においては、仮払金返還免除の特別法を制定していただき、関係者の皆様に深く感謝をいたしております。

また、平成20年度においては、認定患者を対象とした「健康実態調査」によって、今後の治療法の前進が期待されているところであります。加えて、カネミ油症の治療拠点として、九州大学病院油症ダイオキシン研究診療センターの設置や五島中央病院における油症外来の開設、メディカルソーシャルワーカー、看護師の配置など、救済に向けた動きが進められています。

しかしながら、同じ家族が同じ米ぬか油を食して、症状を訴えているにもかかわらず、患者としての認定が分かれる「未認定患者」の問題をはじめ、油症の抜本的治療法の解明、加害企業の賠償金未払いなど、なお大きな課題が残されております。

事件発生から41年を経過し、患者とその家族の高齢化が進む中、健康状態や経済状態などの大きな苦しみをご理解いただき、すべての被害者の一刻も早い救済のため、下記事項の成立に向け特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。



10月16日に開催されたカネミ東京大集会

### 記

- 1 カネミ油症被害者の抜本的な救済策の実施を推し進めるため、次期通常国会において、『カネミ油症被害者救済法案（仮称）』を提出され、速やかに成立させること。

## 離島の燃油にかかる税を免税とする法律制定を求める意見書

五島市は日本の西端に位置し、海を介して他の国々と接しているため、昔も今も様々な面で他国の影響を最初に受け、国益上非常に重要な位置を占めている。

一方、本市は離島というハンディを抱えながらも、離島振興法や過疎対策法という国の大きな制度的支援を受け、道路、港湾、教育・文化施設など生活基盤の整備が計画的に進められてきた。また、平成19年4月には、海洋基本法の法制化により同法第26条に離島の保全等が明文化されたことは、大変意義深く受け止めている。

しかしながら、生活を支える経済活動において、とりわけ基幹産業である農漁業においては燃油の利用が非常に多く、島民の生活は本土に比べ割高な燃油を利用することでしか成り立たない状況であり、社会活動・経済活動全てにおいて高いコストを強いられてきた。

さらに、離島の平均所得は本土に比べるとかなり低く、安定した生活の維持が、より困難な状況にあると言わざるを得ない。生活の厳しさはもはや待ったなしである。

人口流出や過疎化の進行は、とどまる兆しも見えず深刻で、本土との経済的格差の継続は、離島における生活の疲弊に拍車をかけるものである。

よって国において、離島に対する本土との生活格差是正のため、適切な施策の実施を求めるものである。離島における住民の生活の安定と産業の振興を図り、自発的かつ持続的に離島が発展を促すよう、現行の離島振興法の政策的支援を堅持しつつ、離島の燃油にかかる免税措置を早急に法制化されるよう求めるものである。